とうきょう　すくわくプログラム実践報告書

園名	品川区東反田保育園　　対象：３歳児

【テーマと設定理由】

色

スライムや色水を使って色が混ざる変化を楽しんだり、散歩先や保育園の隣にある公園などで発見した虫を飼育し、観察することで色の違いに気付いたりする経験を重ねている。身近な環境の中でも、様々なものをよく観察しており、色の変化や同じ色でも物によって色が違うことに興味を示している。さらに色の特性や変化について子どもたちの興味や関心を深めるため。

【事例１】

活動名　秋の葉っぱの色探し

〇ねらい　・探索活動を楽しんだり、好きな色の葉っぱを見つけたりし、色の違いや特性について興味をもつ
〇活動内容　・変わった色の葉っぱを探したり、好きな色の葉っぱを見つけたりする
〇用意した環境　・戸外用の散歩バッグを用意し、散歩先で見つけた自然物を自分で集められるようにした

子どもたちの様子

変わった色を探すだけでなく、茶色の中にもグラデーションがあること、表と裏で色が違うこと、濡れているから色が濃くなることなど、よく観察して違いに気付き言葉にする姿が増えていた

・葉っぱの色探しを通して、自分なりに葉っぱを何かに見立てようとするなど、新たな遊びに自らつなげていくような姿が見られた

〇保育者の振り返りと気づき
・葉っぱの色探しをきっかけに探索活動を楽しみながら、色の違いに気づくことで、なぜこの色になっているのか疑問をもったり違いを自分なりに推測したりと、探求心が高まっていた
・探索活動の中でも葉っぱを使って見立てる姿が見られたことから、集めた葉っぱをどのように活用するかを子どもに投げかけることで、子ども自身で新たな遊びへの発想を生み出すことに繋がるのではないかと感じた

【事例２】

活動名　拾ってきた葉っぱでこすり出し

〇ねらい　・自分なりに色を塗ったり、色を題材に表現する楽しさを味わったりする
〇活動内容　・好きな色のクレヨンを使って落ち葉でこすり出しをし、ハサミで切って木に貼っていく
〇用意した環境　・戸外で子どもたちが拾った落ち葉を集めて保管しておいた
・壁に木の枝を貼り、こすり出しで描いた葉っぱを自由に貼れるようにした

子どもたちの様子

・戸外活動時に見た風が吹いて葉が落ちる様子や、枝から葉が生えている様子など経験したことから自分なりに貼り方を考え表現している
・木に貼られた葉を見て「サンタさんの帽子」「こいのぼりみたい」と色と形から別の物を連想して友達同士で会話する姿があった

・様々な色でやってみる子、好きな色一色で何枚もやる子、それぞれだった・クレヨンの黄色で「バナナの木」ピンク色で「桃の木」など、色から連想してこすり出しをすることを楽しんでいた

〇保育者の振り返りと気づき
・自由に色を使ってこすり出しをし、様々な色の葉っぱを飾ることで「虹色の木だね」とイメージが広がったり、更に違う色を使ってみようとしたりする姿があった。実際の葉とは違う色の葉を自分たちで作ったからこそ、自由な発想に繋がっていた
・色から知っている他のものを連想してつぶやく姿があった。今後も実物や図鑑、絵本などで様々なものを見て色に触れることで、イメージを広げていきたい

【事例３】

活動名　自分なりの魚を作る

〇ねらい　・色の混ざり合いや変化を楽しみ、自分のイメージする色を作ろうとする
〇活動内容　・魚の台紙に好きな色のクレヨンを使って模様を描いたり、絵の具を使って色塗りしながらはじき絵や色を混ぜ合わせたりする
〇用意した環境　・年長組と一緒に水族館に行って海の生き物を見たり一緒に製作したりする機会をもった
・魚の台紙や自由に絵を描ける白い画用紙、３原色の色水（絵の具で調整したもの）などを用意した

子どもたちの様子

・水族館の写真を見て「これを描きたい」と言ったり「水族館でおさかな見た」と経験したことを話したりしながら、色や模様を真似して魚の形の台紙に模様を描いていた
・「黄色と青を混ぜるとエメラルドグリーンになる」と色の組み合わせ方に気づいていた

・やってみて変化したことを担任に見てもらいたい姿がたくさん見られた
・絵の具で色塗りしていると紙の上で隣り合った色が混ざり、偶然色が変わったことを驚いたり、虹色になったと喜んだりし、色の変化を楽しんでいた

〇保育者の振り返りと気づき
・絵の具の色だけでここまで夢中になって楽しめるとは思っていなかった
・２色を混ぜたらこの色になる、予想外の色ができた、同じ色を混ぜても違う色合いができるなど、気付きがあるのが楽しかったと思われる
・偶然の色の混ざり合いだったが、実際にいる魚のような色合いになった。次回の水族館では、製作した魚を持って行って見比べてみたり、製作物を水族館のように展示したりしていきたい
・これまでの経験の積み重ねが、今回の活動の楽しさに表れ、より子どもの興味や意欲を引き出すことにつながったと感じた